

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（6月定例会）会議録
開催日時	令和3年6月25日（金）午後2時から午後3時45分まで
開催場所	田無第二庁舎3階 会議室
出席者	委員：高橋議長、長谷川副議長、岩崎委員、川原委員、北村委員、木下委員、河野委員、小松委員、攝賀委員、星出委員、矢野委員 事務局：和田社会教育課長、江藤課長補佐兼社会教育係長、野田主事
議題	<u>議 事</u> （1）教育長からの御礼 （2）今期の活動について （3）地域学校協働活動の進捗状況について （4）その他
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議事（1）教育長からの御礼

○議長：今期最後の会議ということで、教育長よりご挨拶をお願いしたい。

○教育長：本日で今期最後の会という事で御礼を申し上げるとともに、御退任される委員の皆様には、これまで大変熱心な活動をしていただき心から御礼申し上げたい。今後も皆様の御深慮を糧にさらに充実した社会教育の活動を進めて参りたい。

○議長：教育長ありがとうございました。

議事（2）今期の活動について

○議長：今期2年間の活動のまとめについて、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：この2年間、地域学校協働活動をテーマに討論をしていただいた。討論を進めていく中で新型コロナウイルスの影響を受け、休会することもあったが、提言を作成していただいたことを感謝申し上げたい。

○議長：では、各委員より、この2年間の活動について振り返り、感想や意見等をお願いしたい。

○委員：◆地域学校協働活動が積極的に実施されている自治体を見ると、行政職員に社会教育主事の任用がされていたり、学校に嘱託の社会教育主事を配置されたりなど、社会教育主事が地域学校協働活動の糧となっていることがわかる。

◆教育長等の力添えとともに、地域学校協働活動が推進されていくことを願いたい。

○委員：◆全ての人が学習意欲や課題意識を持っているわけではないので、学習が繋がりをもてるような取り組みが必要である。

◆地域で学校を応援していくのであれば、学校を応援していけるだけの力を地域は養わなければならない。市長部局も教育委員会も担当分野における市民の学びの機会づくりを担っている面では社会教育に繋がるといえるが、市全体としての市民の力を育むためには、社会教育を担っている部門の力が重要になってくる。

- 委員：◆地域住民が学校を好きで、先生をいつでもサポートできるような地域が当たり前の状態となることを願いたい。
◆新型コロナウイルスの影響を受けて会議の延期や中止はもったいない気がする。リモート会議を取り入れることが出来ればよかった。
- 委員：◆社会教育委員の活動を通して、学校の在り方が大きく変わる過渡期にあることを知るが出来た。子どもたちの国籍や文化的背景が多様化し、障がいも多様化する現実の中で、地域学校協働活動が子どもたちの教育の保障に資するものとなることを心より願っている。
◆コミュニティスクール構想が、本当に「開かれた学校」となるために、市民も含めた自治や現場の決定権の自立性が担保されることが大切なこととなろう。そのためには市民一人一人が学校に関心を持ち、学校の在り方に主体的に関わるだけの知識と経験も必要となろう。今後も市民として学校について関心を持ち続けたい。
- 委員：◆コロナ禍のため、多くの議論を重ねた上での提言を出すことが出来ず残念であった。だからこそ、地域学校協働活動をこれから実際に進めていく上で、一人一人何ができるかをこの先もう一度考えて詰めていきたい。
◆社会教育委員になったことで、地域に目を向けるきっかけとなった。子供がより目を輝かせていけるような西東京市であってほしい。
◆様々な方の協力を得ながら地域と学校が手を繋いでいけたら、地域の発展にも繋がる。
- 委員：◆地域に伝統的な行事がないことや、転入している子どもが多くいることで地域に愛着を持っている子どもが少ない現状がある。そのような中で、学校を中心とした地域づくりをこれからも大事にしていきたい。
◆地域が学校をサポートしていく方法は、海外にまで目を向けると非常に多様であり、その多様な地域の活動を学校が認め、生かしていくと、より学校を中心とした地域づくりを目指していけるのではないかな。
- 委員：◆人とのつながりが問われる今、地域学校協働活動が実際に進んでいくことは、非常に価値があるものであると考えている。
◆新型コロナウイルスの影響を受けた社会教育委員の活動ではあったが、コロナ禍での学びを考えるきっかけとなる活動であった。
- 委員：◆協働は違う立場の人がそれぞれの強みを生かして、同じ目的に向かって進むことなので、地域学校協働活動の学校を核とした地域づくりは学校の先生が何でもやるといった概念を持たないよう働きかけていきたい。
◆当市は子ども条例があるので、子どもの視点を持った地域学校協働活動の推進を進めていく必要がある。
- 委員：◆社会教育委員の活動を通して様々な地域課題に対する対策案を考えるきっかけとなった。例えば、放課後の学校を利用して地域の中高生の学習場所を作ったり、空き教室等を利用して子どもの居場所を作ったりしたい。
◆コロナ禍でも社会教育活動を進めていくために公民館での配信型学習を整備できないだろうか。
- 委員：◆新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出もあり、議論を深めることができなかったことが残念であった。
◆西東京市の子どもたちが、地域に愛着を持てるような地域づくりを目指していきたい。

◆放課後子供教室や地域学校協働活動で何ができるかを考える2年間となった。

- 委員：◆今後、（仮称）地域学校協働本部の仕組みづくりをしっかりと進めていく必要がある。
◆子どもの学びの場を学校以外にも増やしていくことが大切である。
◆地域学校協働活動で子どもの人権が守られ、安全安心な地域環境をみんなで作っていかれたらよいと考える。また、今後愛着の持てる地域の意味についても考えていきたい。

○議長：委員の皆様、ご感想や貴重なご意見等を誠にありがとうございました。

議事（3）地域学校協働活動の進捗状況について

- 議長：事務局より今期に提言を提出いたしました「地域学校協働活動」についての現在における市の進捗状況等の説明をお願いしたい。
- 事務局：皆様からいただいたご提言や、社会教育委員におけるご意見等を参考にしながら、実際に2校のモデル校を設置し、実施へと進めている。
引き続き、西東京市の社会教育行政の御理解、御協力の程をお願いしたい。

議事（4）その他

【1】今期にて退任される委員について

- ◆内容 6名の委員が御退任される。